

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

10月7日(木) 例会報告



会長挨拶をする川崎庄一会長

会長挨拶

今回は第2820地区で会員数が1番多い水戸RCと県南地区で会員数が1番多い土浦南RCのメイクをしてまいりました。

どちらのRCも受付の近くに親睦委員会のテーブルがあり、親睦委員会のメンバーが、親睦委員会の襟をかけてきちんと整列してお迎えしていただきました。メイク料の支払や名札の受け渡しだけでなく、席までのご案内もしていただきました。両RCともきちんとした運営をされているなというのが第1印象でした。

会場は、両RCとも16テーブルございました。メインテーブルはゲスト専用のテーブルで、食事タイムになりますと、会長・幹事・副会長・副幹事が着座して一緒に食事を取りました。

受付ではクラブ会報をいただきました。クラブ会報を拝見しますと、そのRCがどのような活動や例会運営がなされているか分かります。驚きましたのは、両RCとも点鐘の場所が、演台ではなく会長席の前にある点でした。

まず、土浦南RCからお話しますと、数年前に年間10名の会員増強をされました。そのうち8名が青年会議所（以下：JC）出身者でした。今期会員数が80名を下回り、急遽会員増強に取り組まれております。現在6名の方が入会予定で、今期の最終目標が10名の増強だそうです。

なぜ、そのような拡大が図れるのでしょうか？その1つの理由は、土浦市は商工会議所で、つくば市は商工会という点にあるのではないのでしょうか。商工会議所青年部は47歳で卒業ですが、商工会青年部は41歳で卒業です。つまり、JCを卒業しても商工会議所青年部は入会できるのです。商工会議所青年部にはRCのメンバーも多く参加しており、イベントや遊びを通して人間関係が構築でき、RCに入ってもらえるのです。つくば市ではそのように活動を一緒にする機会に恵まれませんので、JCのOB会ルートで新入会員の勧誘をお願いいたします。

次に水戸RCでは、ロータリーソングとして4つのテストを歌っていました。会場は常陽銀行の8階の会議室を使用していました。ホテル並みの設備です。これは初代会長を当時の常陽銀行の頭取でありました亀山甚氏が務められたことに由来するそうです。

SAA席の隣に米山委員長と財団委員長が着座し、BOXが常備されておりいつでも寄付ができる体制を整えておられました。そのため1人当たりの寄付の額も多く、非常に国際奉仕に力を入れている印象がありました。

親クラブは東京RCだけだと思っておりましたら、神戸RCと東京RCでした。これはその当時神戸RCの会員で茨城県出身の久米考蔵氏が茨城県にもRCをとるという思いで、水戸RCの設立に尽力されたためです。

歴史の古い県都のRCの特徴として企業出向者が20名ほどいらっしゃいます。その方々は転勤などに伴い3年間に1回ほどで会員が変わっていきます。



10月7日(木) 例会報告



会長挨拶をする川崎庄一会长

会長挨拶（続き）

私どもつくば学園RCでは、11月の職業奉仕委員会の移動例会として百里基地の見学を予定しておりますが、水戸RCでも百里基地・茨城空港・阿見予科練記念館の見学を企画されておりました。「考えることは同じなのだなあ」と改めて感じました。

振り返って自分のRCを考えますと、私が親睦委員の頃には、必ず20分～30分前には到着して、メイクのお客様をお迎えしておりました。また、いつの間にか親睦委員会の襷をかける習慣もなくなっておりました。例会に出席するお客様も、親睦委員会のブルーの襷を見つければ安心されると思います。昔に戻って、親睦委員会の襷を復活していただけますようお願いいたします。例会に参加されたお

客様が時間内楽しく、気持ちよく過ごしていただくことが大切です。

最後に、過日例会に出席いただきました恵美子・マイヤー様からお礼のお手紙を頂戴いたしました。ご紹介して会長挨拶を終わります。

（なお、恵美子・マイヤー様からのお礼の手紙の全文は、vol. 11号に掲載させていただいております。是非ご一読ください。）

幹事報告

- 11月プログラムの件 承認
理事会を10月28日 11:00に変更
11月28日「つくばマラソン」出席者はメーキャップ出席扱いとする。
- ロータリーの森創りの件 承認
予算を一部変更
つくばマラソン給水所設置移動例会（案）の件 承認
移動例会とはせず出席者はメーキャップ出席扱いとする。
- ロータリーの森創りの件 第2号議案にて承認
クリスマスパーティー企画の件 承認
- ガバナー公式訪問スケジュールの件
10月28日 例会終了後ガバナー補佐と打ち合わせ。その後リハーサルを行う。
- 米山月間の件 川崎会長より現状の説明。
国際奉仕についての件
留学生を10名選出済み。1年間継続して交流を図る予定。一部メンバーは納涼会で紹介済み。名簿の提出と紹介を行う予定。
- 地区役員選出の件 川崎会長より候補者選出予定。
- 3クラブ合同例会会費補助の件 2,000円を例会費とし、3,000円を個人負担とする。
サンライズRCより合唱団出演依頼が来ています。
- その他
 - ローターアクト2地区合同例会（11月7日） 会長・幹事出席予定
 - ローターアクト代表公式訪問（10月19日） 会長・幹事・下村・塚原・小城出席予定
 - ユニセフ募金の件 例年通り行わない
 - 指名委員会日程 11月17日 移動例会終了後 会場 ホテルグランド東雲
出席者 川崎会長 皆葉幹事 下村副会長 小城副幹事 綿引副会長
伊勢会員 東郷前会長 上野前々会長



幹事報告をする皆葉真治幹事



職業奉仕月間に因んで



職業奉仕月間に因んで卓話をする
増山栄職業奉仕委員長

ロータリーの職業奉仕について

地区の職業奉仕研究会が8月7日に開催され出席してきました。私自身、ロータリー歴21年を迎えますが、今回、初めて研究会に参加して、ロータリーの職業奉仕とは何かが少し理解ができたような気がしました。研究会で講師を勤められた姫路ロータリークラブの安平和彦氏の「ロータリー職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」というテーマでの講演を聴き、その理解を深めることが出来ました。

これまでロータリー職業奉仕委員会とは、会員が地元企業や会員企業へ職場訪問し、多くの職業に対する理解を深めること。また、ロータリー活動を通じて自己の職業の研鑽に励み、社会に奉仕することをロータリー会員に啓蒙する委員会であると考えていました。そのことはもちろんロータリーの職業奉仕の重要な事業であること

は間違いではありません。

安平さんは、ロータリーとは人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である。しかも、ただの倫理運動ではない。職業奉仕とは、愛情の世界の考え方をもって、打算の世界をコントロールしていこうという考え方である。これが職業奉仕の根本原理であり、ロータリーの原点が職業奉仕にあるといわれる所以であると説かれました。

1932年、当時のシカゴ・ロータリークラブの会員であり、1954～55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバートJ・ティラーにより発案された「四つのテスト」を解釈した日本人が小堀賢助ですが、「Fundamentally, Rotary is philosophy of life」をロータリーはひとつの人生哲学「利己と利他の調和」と解釈しています。ポール・ハリスは「クラブの親睦のエネルギーを社会奉仕に」。また、アルサー・シュルドンは「経営の科学は奉仕の哲学である」と説いています。

実は、日本ではロータリーが存在する前から日本版職業奉仕が存在していました。「石門心学」の祖である石田梅岩(1665～1744)は勤勉 誠実 正直 「仁」「義」「礼」「智」「情けは人のためならず」と説いていますし、近江では「三法よし」の商人道、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」、企業の存在そのものを社会のためになるように教えられてきました。「Corporate Social Responsibility」

ロータリーの哲学と日本の伝統的な職業倫理観は相通じるといことであります。

ロータリーの職業奉仕論は商売の「極異論」であり、

「満足」という商品と「感謝」という対価

「真実」という商品と「信用」という対価である。

ロータリーの職業奉仕論は利己と利他の調和の哲学であり、ロータリーは職業人の代表として参加しているのではなく、ロータリーから各職業にメッセンジャーとして派遣されていると考えるべきである。

「Vocation」

何よりも「ロータリーの哲学」を実践することは必ずや他人を助け、やがては巡りめぐって自らの人生を明るく照らしづれば自己の利益に巡ってくるということでもあります。

今年度、例会にて出来る限り会員による職業に関する卓話をプログラムされています。職業奉仕月間だけでなく一年間、職業奉仕について考えていただけることと思います。職業奉仕委員会では職場訪問についても今年度は例年の数倍の予算をいただき県外を含め二回を企画しました。また、今年で第5回となります豊里中学校での職業紹介と盛沢山の事業を企画しています。すべて、他の委員会との協同事業として進めております。特に浅草に関しましては企画のすべてを石井会員に段取りしていただきました。現在、50名近い出席者となっています。こちらの方は是非ご期待ください。

ロータリーの職業奉仕について話をさせていただきましたが、すべて、安平講師の受け売りでございますのでご容赦の程、宜しくお願いします。

また、より深く学びたい方は、是非、ロータリーの友10月号を熟読ください。職業奉仕についての特集が組んでございます。



10月移動例会「スカイツリー・浅草見学」のご案内

10月移動例会のご案内

タイムスケジュール

日時：平成22年10月21日（木） 午後15時15分～

- ①第1集合場所 午後15時15分～
つくばエクスプレス（TX）浅草駅「A-1出口」
前で矢島会員が待っています。
駅より徒歩5分「雷5656（ゴロゴロ）茶屋」前に
案内します。
※雷5656会館ではありません。ご注意ください。

- ②第2集合場所 午後15時45分～
浅草見番へ（全員揃って行きます。）

- ③第3集合場所 午後17時50分～
宮本卯之助太鼓館（見番より全員で行きます。）

- ④第4集合場所 午後18時45分～
どぜう飯田屋にて会食

途中出席予定の方は、出席される予定時
間、途中欠席の方は、欠席される予定時間を
予め矢島会員にご連絡してください。

出欠の確認用紙を先日会員の皆様に、事務
局よりFAXさせていただいております。出
欠の確認ができない場合は、欠席とみなしま
す。提出期限は10月12日（火）までにつくば
学園RC事務局へFAXにて返信してくださ
い。

多くの会員の皆様の御出席をお待ち申しあ
げます。



10月移動例会の説明をする
矢島定雄会員



東京スカイツリー完成予想写真



10月移動例会の補足をする
石井健三会員

10月移動例会オプションのご案内

10月移動例会におきましては、残念ながら遠方より東京スカイツ
リーを見学することになります。

そこで、是非ともこれを機に東京スカイツリーを真下から見上げて
みたいという会員のためにオプションツアーを企画いたしました。

日時：平成22年10月21日（木） 午後14:10

集合場所：押上駅改札口

是非私とご一緒に東京スカイツリーを見学いたしましょう。
ご参加お待ちしております。



10月7日 会場スナップ①



本日は、役員席が少し寂しげでしたが、中山SAA委員長がお忙しい中駆けつけていただきましたので、SAA席の席順は違っていますが、賑わいがありました。会員の皆様にも、お忙しい中多数御出席いただきましてありがとうございます。





10月7日 会場スナップ②



本日は食事タイムの写真撮影中に、ニコニコ大賞の発表があったり、食事の時間があまりなかったりで、あやうく昼食を取り損ねそうになりました。そのためお弁当の写真を撮り損ねそうになりました。作っていただいたシェフには怒られそうですが、一つ残っていて良かったです。あぶない、あぶない。



10月7日 報告・依頼事項



会員増強の経過報告をする
石川英昭会員増強・会員選
考・職業分類委員長

会員増強状況の経過報告

前年度つくば学園RCは、62名が期末の会員数でした。これは、第2820地区の中で6番目の会員数でした。今期7月末の会員数は4名入会いただきまして66名となり、水戸西RCと同数で4位となっております。

本年度、川崎会長はクラブ会長方針の中で、会員の退会防止と純増2名を掲げております。現在のところ退会者はでておりませんし、退会を予定されている方がいるようなお噂も聞いておりません。このまま年度終了まで退会者無しで迎えたいものです。

もし万が一退会者がでて、純増が達成できないような状況になりましたら、私が責任をもちまして、純増2名を達成いたします。

もちろん会員増強には会員の皆様のご協力が欠かせませんので、今後益々のご協力、よろしくお願いいたします。

10月7日ニコニコBOX



石井健三	浅草移動例会の準備も整い、楽しい浅草を過ごしたいと思います。また、思わぬニコニコ大賞を頂きありがとうございました。
大木康毅	10月21日のスカイツリー見学、飯田屋の”どぜう”楽しみにしています。皆さんよろしく！！
大野治夫	きのう、つくばねカントリーでアウト・39で回りました。インは50でした。アウトが本当の私です。
増山栄	浅草への移動例会大勢のご参加有難うございました。また、先日の土浦薪能(たきぎのう)はおぼろ月の下で出来ました。つくば学園RCのご協賛ありがとうございました。



9月ニコニコ大賞を受賞した
石井健三会員と鯨井規功会員

本日の合計	¥21,000-
本年度累計	¥373,000-

受賞作品紹介

おめでとうございます

石井健三会員

東京浅草ロータリークラブにメイクして来ました。改めてつくば学園ロータリークラブの良さを感じました。

鯨井規功会員

14日に誕生日を迎えました。13日の前夜祭から天久保界限で、プレゼント回収の夜の移動例会で大変な日々を送っております。あと4件がんばります。

出席率報告 10月7日(木) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
66名	48名	11名	3名	2名	0名	75.00%



プログラム予告 10月 米山・職業奉仕月間

- 10月14日 「米山月間に因んで」 岡添紘樹委員長
奥様誕生祝・結婚祝
- 10月21日 川崎年度第1回「スカイツリー・浅草見学」
- 10月28日 「ガバナー補佐公式訪問」
職業奉仕報告
塚田陽威会員、古本捷治会員
会員誕生祝



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●私が数年前可能思考研修という研修会に参加させていただいたきました。この研修は自己の可能性を引き上げる為の思考力を身につけるための研修で経営者自身にも、また社員教育にも応用できます。3泊4日の研修の中で様々なことを学びましたが、いまだに私自身実践していることは、「いやだな」ですとか「やりたくない」と思ったことを年に1つは実行するという事です。

最初に取り組むことや、初めて経験することは、「自分にできるかな？」ですとか「自分にできるわけがない」と考えて尻込みしてしまいます。不安がよぎりますよね。ただし、1度経験してみると、「案外なんてことなかったな」ですとか「何を準備して、こんな風に段取ればできるんだな」ということがわかります。次に同じような依頼がきたとしても、割と簡単に分かりましたと受けられるようになります。

振り返ってみますと、毎年何がしかの依頼があり、この研修をでていなければ断っていたなと思われるものも多々ありました。原稿の依頼やセミナーの講師の依頼やPTAの会長の依頼や、ある団体での理事の依頼などがそうであったと思います。

今年はクラブ会報委員長の依頼であったと思います。写真撮影や会報の作成が自分にまとまるか？ましてや出席ができるか？などいろいろ悩みましたが、今年の研修の実践がこれなのかと考えた時にお引き受けさせていただきました。今まで欠席がちであり、コンピュータの知識もあまりなさそうな私にクラブ会報という役職を任命いただきました川崎会長や皆葉幹事には大変感謝しております。ありがとうございます。

例会日 木曜日 12:30～13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第2650地区)



地域を育み、大陸をつなぐ

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: gakuenrc@46gama.com